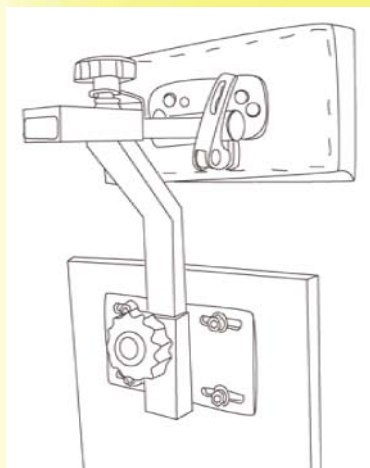
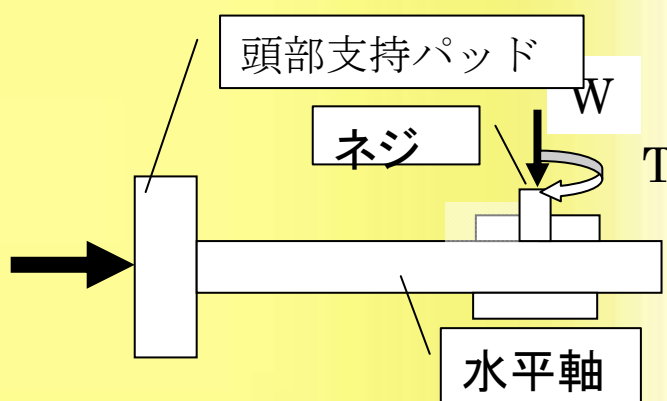


介助者の操作力を考慮した 座位保持装置の強度



本人や介助者が機器を適切な位置にノブやレバーで固定する場合があります。

操作時の固定力が座位保持装置の位置を維持する安全性に関与することを示しました。



女性が調整する場合も多いので、人間工学データから締め付け力等を決定しました。

現在、ISO16840の改訂版に採用されています。

種類	固定力
ノブ	2.3N
レバー	66N
クランク	89N、片手

ISO16840-3 改訂版CD

研究担当者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 廣瀬秀行、相川孝訓

